



無会派
中島孝議員
が問う！

米価高騰対策にも
小規模・中小企業にも、もっと
国、地方行政の関与が必要!!

当市の農業振興の課題について

米価の高騰は、減反政策で生産量を減らし過ぎた結果、農家数は今後も急減が見込まれ、大規模農家の育成だけでは、米不足の問題を解決することは困難である。小規模農家を含めた保護・育成策が必要と考え、当市の農業振興の課題について伺う。

Q. 担い手不足への対応について伺う。

A. 本市では平成12年から令和2年にかけて総農家数が約51%、水稲作付経営体数が約66%、総農家数に占める水稲の作付経営体数の割合が約25%減少し、農家数全体の減少に応じて、水稲農家数も大幅に減少してい

る。特に東日本大震災後の5年間で減少幅が顕著であった。市は農地復旧や法人化支援、農地集約化を進めつつ、担い手不足を深刻な課題と捉え、大きく次の3点を取り組んでいる。①農業生産法人の立ち上げ支援や新規就農フェアへ参加し、PR活動などを行うことによる担い手の確保。②就農希望者への補助制度活用支援及び移住相談支援。③GPSやドローン活用支援などスマート農業の推進。市としては、これらの施策を継続し、国や県の新方針を速やかに関係者に周知し、担い手不足の影響の軽減に努めていく。

Q. 米の作付面積の推移について問う。

A. 福島県は毎年、基本方針に基づいて各自治体の「主食用米作付面積の目安」を決定し、12月頃に市地域農業再生協議会を通じて農家へ通知している。農家はこれを参考に営農計画書を作成し同協議会に提出することで、その年の主食用米の作付面積が決まっていく。本市では、直近3年間の作付面積が目安を上回る状況が続いており、令和7年は前年より401ヘクタール(29.3%)増加し、目安面積1、343ヘクタールに対して1、766ヘクタールであった。この増加は米流通量不足を踏まえた農家が判断された結果と市は捉えている。

また、国は令和7年8月に、主食用米の増産へ政策転換を決定している。

市としては、今後、国から主食用米の作付けに関する通知があれば迅速に各農家へ周知していく。

その他の質問

- 当市の小規模・中小工商业者の人手不足の現状と課題について
- 当市の財政状況について



9月定例会
日程、内容、傍聴者数について

9月定例会の本会議の日にち毎の主な内容、傍聴者数についてお知らせいたします。

本会議	日にち	内容	傍聴者数
1日目	9月 1日(月)	議案の上程等	14人
2日目	9月 4日(木)	一般質問等	7人
3日目	9月 5日(金)	一般質問	9人
4日目	9月19日(金)	議案採決	4人



9月定例会賛否一覧

	議決結果	賛成	反対	新政会					にじ					そうま市民の会	新時代そうま	無会派					
				石橋浩人	菊地清次	波多野広文	河内幸夫	佐藤満	愛澤俊行	横山和雄	畑中昌子	杉本智美	門馬優子	浦島勇一	根岸利宗	山中宣明	只野敬三	中島孝	瀬庭大輔	高橋利宗	高玉良一
請願第 3 米の増産政策等を国に求める意見書提出についての請願	賛成少数	4	13	●	●	●	●	●	● 討論	●	●	● 討論	●	○ 討論	○ 討論	●	●	○ 討論	○	●	議長
請願第 4 訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを国に求めること、並びに市独自の支援策策定を求める意見書提出の請願	賛成少数	5	11	●	○	●	一	●	● 討論	●	●	●	●	○ 討論	○ 討論	●	●	○ 討論	○ 討論	● 討論	議長

※ ○は賛成、●は反対
※ 議長(高玉良一)は採決に加わりません。

委員会行政視察報告

産業建設常任委員会、議会運営委員会は、所管事務の調査と研究のため行政視察を実施しましたので、概要をお知らせします。

【産業建設】

①千葉県館山市

(7月2日)

リノベーションまちづくり推進事業について視察しました。

館山市では、まちなかの空き店舗や空き家などの遊休不動産を起業・創業意欲のある人材が新しい使い方により「まち」を再生するため、リノベーションまちづくり推進事業を行っている。

これは、地域課題の解決を見据えて民間主導の官民連携事業である。

②茨城県稲敷市

(7月3日)

農業の未来を創るスマート農業推進事業補助金について視察しました。

稲敷市では、創造性豊かで持続可能な農業を実現するため、スマート農業の導入および活用を促進する事業に対して補助

金を交付している。

補助対象は市税の未納がないこと。認定農業者または新規就農者であること。市内に居住し、または認定新規就農者であることが要件となっており、補助上限は70万円となっている。

③茨城県土浦市

(7月4日)

フィルムコミッション事業について視察しました。

土浦市は平成12年から、映画やテレビ番組CMなどのロケ撮影を円滑に進めるための支援を行い、市のプロモーション活動を推進している。

この事業を通じてロケ誘致が進み、映像を通じて市の魅力を広く発信することで、市のイメージアップや市民の地域への誇りの向上、さらに観光客の増加が期待される。

【議会運営】

①北海道登別市

(7月9日)

議会改革の取組について視察しました。

登別市では、開かれた議会、多様性のある議会の実現を目指し、平成12年度から議会改革に取り組んでいる。

②北海道伊達市

(7月10日)

伊達市では、高校生との意見交換会について視察しました。

伊達市議会では、議会改革を推進するため、提言を図ることを目的としており、実際に懇談会の内容が政策実現に向けての動きとなっている。

③北海道室蘭市

(7月11日)

室蘭市では、市民と議会との懇談会について視察しました。

この懇談会は、議員自らが地域に出向き、市民から幅広く意見を聴き、市民意見を反映した政策提言を図ることを目的としており、実際に懇談会の内容が政策実現に向けての動きとなっている。